

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容科	夜・通信	1,050	80×2=160 単位時間	
	美容科	夜・通信	1,050	80×2=160 単位時間	
衛生専門課程	プロスタイリスト科 (3年生)	夜・通信	1,205	45×3=135 単位時間	
	プロスタイリスト科 (2,1年生)	夜・通信	1,085	80×3=240 単位時間	
(備考) プロスタイル科については令和4年4月入学生(1年生) 令和3年4月入学生(2年生)は昼間、令和2年4月入学生(3年生)は夜間					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上に公開

https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/jitumu_-subject.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上に公開

https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/director_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員 (H02.04.01～)	H17.04.01 ～ R05.05.26	経営に関する助言
非常勤	会社役員 (S62.04.01～)	H31.04.01 ～ R05.05.26	教育・生徒募集に 関する助言
非常勤	理容師 (H15.04.01～)	H27.04.01 ～ R05.05.26	教育・カリキュラ ムに関する助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

授業計画書は、毎年、新年度の授業科目毎の講師体制決定後の1~3月に、既存の授業計画書をベースに、教育課程編成委員会の意見や教科書の改訂等の事情を考慮しながら、新年度分を決定する。

年度初めの授業において、説明を実施し、生徒の理解を得る様に努めるとともに、ホームページ上に授業計画書を公開している。

授業計画書の公表方法

ホームページ上に公開

https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/class_riyou.pdf

https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/class_biyou.pdf

https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/class_pro_night.pdf

https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/class_pro_noon.pdf

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各科目、毎学期末に試験を実施し、試験結果をもって厳格かつ適正に評価し、単位を与えている。

試験に不合格だった場合は、あらかじめ告知した追試日程に向け、補講の形で合格点に達するまで指導を行い、全員が単位を取得できる様、努めている。

また、学期毎に担任・副担任が生徒への個別面談を実施し、学習意欲や生活態度に変化が無いかが、注意を払う様、心がけている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

試験結果に基づき、科別、学年別、科目別にGPAを算出し、分布状況をホームページ上に公開している。

前述の様な追試に向けた指導や個別面談においては、GPAを参考に目標ラインの設定やランク別の指導を行っている。

評点については、学期毎に学期末試験の結果、出席状況等を総合的に評価して採点し、通知表により生徒、保護者に伝達している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/gpa.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全科目において評価が3以上であることを必須とし、最終的に校長、学年主任、担任、事務局長で構成する卒業判定会議の議を経て決定する。評価は、原則として期末試験の点数に応じて決定し、状況によっては授業態度や出席状況を加味する場合もある。</p> <p>但し、いずれの科目も出席率が100%であることが必要であり、補習を行うことで欠課時間数を補うことができるが、出席率50%未満の場合は補習の実施如何に関わらず、評価を受けることができない。</p> <p>尚、試験結果が60点(評価3)に満たない場合は、追試により評価を得ることは可能である。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2020/06/0a9793edf03565c9555d7d06caa3d5a7.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/loan.pdf
収支計算書又は損益計算書	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/shushi.pdf
財産目録	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/property.pdf
事業報告書	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/business_report.pdf
監事による監査報告(書)	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/audit_report.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,010 時間	680 単位時間	120 単位時間	1,210 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,010 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140 人		80 人	0 人	14 人	7 人	21 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 理容師養成施設指定規則に定める課目に則り、卒業時に国家資格取得を目指すとともに、現場との連携を密にし、現場で求められる即戦力の育成につながる内容を盛り込んでいく。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験結果に基づき、科別、学年別、科目別に GPA を算出し、分布状況をホームページ上に公開している。 前述の様な追試に向けた指導や個別面談においては、GPA を参考に目標ラインの設定やランク別の指導を行っている。 採点については、学期末試験の結果、出席状況等を総合的に評価して採点。
卒業・進級の認定基準
(概要) 全科目において評価が 3 以上であることを必須とし、最終的に校長、学年主任、担任、事務局長で構成する卒業・進級判定会議の議を経て決定する。 評価は、原則として期末試験の点数に応じて決定し、状況によっては授業態度や出席状況を加味する場合もある。 但し、いずれの科目も出席率が 100%であることが必要であり、補習を行うことで欠課時間数を補うことができるが、出席率 50%未満の場合は補習の実施如何に関わらず、評価を受けることができない。 尚、試験結果が 60 点 (評価 3) に満たない場合は、追試により評価を得ることは可能である。
学修支援等
(概要) 担任、副担任、学年主任体制により、日頃の学生の態度や変化にきめ細かい注意を払うとともに、できるだけ多くの教職員が関わることで、相談のしやすさ・相手を選べる環境を創っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40人 (100%)	0人 (%)	40人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 理美容業界（理容師、エステティシャン、グルーミニスト）			
（就職指導内容） アンケートや個別面談を通じ、各人の希望を把握するとともに、関連企業が運営する理美容サロンのポータルサイトや就職支援サイトを活用し、校友会サロンを中心にマッチングを図る。応募先決定後は、過去のデータも活用し、個別面接指導を中心に入社試験対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理容師国家資格（受験者40名 合格者37名 合格率92.5%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
86人	5人	5.8%
（中途退学の主な理由） 学校生活不適應		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任、学年主任体制により、日頃の学生の態度や変化にきめ細かい注意を払い、折に触れ個別面談を行うとともに、保護者との連携を密にし、場合によっては保護者を交えた三者面談を実施している。また、退学希望であっても退学後のビジョンが明確でない場合等には、可能な限り休学を勧め、復学の道を残す様、心がけている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,010時間	680 単位時間	120 単位時間	1,210 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,010 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		223人	人	21人	15人	36人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 美容師養成施設指定規則に定める課目に則り、卒業時に国家資格取得を目指すとともに、現場との連携を密にし、現場で求められる即戦力の育成につながる内容を盛り込んでいく。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験結果に基づき、科別、学年別、科目別に GPA を算出し、分布状況をホームページ上に公開している。 前述の様な追試に向けた指導や個別面談においては、GPA を参考に目標ラインの設定やランク別の指導を行っている。 評点については、学期末試験の結果、出席状況等を総合的に評価して採点。
卒業・進級の認定基準
(概要) 全科目において評価が 3 以上であることを必須とし、最終的に校長、学年主任、担任、事務局長で構成する卒業・進級判定会議の議を経て決定する。 評価は、原則として期末試験の点数に応じて決定し、状況によっては授業態度や出席状況を加味する場合もある。 但し、いずれの科目も出席率が 100%であることが必要であり、補習を行うことで欠課時間数を補うことができるが、出席率 50%未満の場合は補習の実施如何に関わらず、評価を受けることができない。 尚、試験結果が 60 点 (評価 3) に満たない場合は、追試により評価を得ることは可能である。
学修支援等
(概要) 担任、副担任、学年主任体制により、日頃の学生の態度や変化にきめ細かい注意を払うとともに、できるだけ多くの教職員が関わることで、相談のしやすさ・相手を選べる環境を創っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
105人 (100%)	0人 (%)	105人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 理美容業界（美容師、アイスタイリスト、ネイリスト）			
（就職指導内容） アンケートや個別面談を通じ、各人の希望を把握するとともに、関連企業が運営する理美容サロンのポータルサイトや就職支援サイトを活用し、校友会サロンを中心にマッチングを図る。応募先決定後は、過去のデータも活用し、個別面接指導を中心に入社試験対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家資格（受験者 106名 合格者 102名 合格率 96.2%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
228人	9人	3.9%
（中途退学の主な理由） 学校生活不適應、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任、学年主任体制により、日頃の学生の態度や変化にきめ細かい注意を払い、折に触れ個別面談を行うとともに、保護者との連携を密にし、場合によっては保護者を交えた三者面談を実施している。また、退学希望であっても退学後のビジョンが明確でない場合等には、可能な限り休学を勧め、復学の道を残す様、心がけている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	プロスタイリスト科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜間	1,700時間	495 単位時間	20 単位時間	1,185 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,700 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		15人	人	10人	3人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>高校卒業後、理美容サロンに就職した者に対し、サロンに従事するためのマナー・接客術に加え、特に国家資格を必要としない施術（ヘッドケア、ネイルケア等）を中心とすることで、習得した技術をすぐに職場で活かすことのできる環境を提供し、日々の仕事に対する自信を養わせるとともに、職場における自身の役割や担当すべき業務を明確に示すことで、職場での居場所確保とやりがいを養成し、定着率の向上や技術取得への更なる意欲の向上を図る。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>試験結果に基づき、科別、学年別、科目別に GPA を算出し、分布状況をホームページ上に公開している。</p> <p>前述の様な追試に向けた指導や個別面談においては、GPA を参考に目標ラインの設定やランク別の指導を行っている。</p> <p>評点については、学期末試験の結果、出席状況等を総合的に評価して採点。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>全科目において評価が 3 以上であることを必須とし、最終的に校長、学年主任、担任、事務局長で構成する卒業・進級判定会議の議を経て決定する。</p> <p>評価は、原則として期末試験の点数に応じて決定し、状況によっては授業態度や出席状況を加味する場合もある。</p> <p>但し、いずれの科目も出席率が 100%であることが必要であり、補習を行うことで欠課時間数を補うことができるが、出席率 50%未満の場合は補習の実施如何に関わらず、評価を受けることができない。</p> <p>尚、試験結果が 60 点（評価 3）に満たない場合は、追試により評価を得ることは可能である。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>担任、副担任、学年主任体制により、日頃の学生の態度や変化にきめ細かい注意を払うとともに、できるだけ多くの教職員が関わることで、相談のしやすさ・相手を選べる環境を創っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	人 (%)	人 (%)	17人 (100%)
（主な就職、業界等） 理美容業界（高校卒業後、理美容サロンに就職した者が入学対象である）			
（就職指導内容） 既に理美容サロンに就職した者が学ぶ科であり、就職指導は必要としない			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理容師国家資格（受験者7名 合格者5名 合格率 71.4%） 美容師国家資格（受験者3名 合格者3名 合格率 100.0%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 中途退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任、学年主任体制により、日頃の学生の態度や変化にきめ細かい注意を払い、折に触れ個別面談を行うとともに、保護者との連携を密にし、場合によっては保護者を交えた三者面談を実施している。また、退学希望であっても退学後のビジョンが明確でない場合等には、可能な限り休学を勧め、復学の道を残す様、心がけている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	プロスタイリスト科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,430 時間	225 単位時間	60 単位時間	2,145 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,430 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		30 人	人	10 人	3 人	13 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>高校卒業後、理美容サロンに就職した者に対し、サロンに従事するためのマナー・接客術に加え、特に国家資格を必要としない施術（ヘッドケア、ネイルケア等）を中心とすることで、習得した技術をすぐに職場で活かすことのできる環境を提供し、日々の仕事に対する自信を養わせるとともに、職場における自身の役割や担当すべき業務を明確に示すことで、職場での居場所確保とやりがいを養成し、定着率の向上や技術取得への更なる意欲の向上を図る。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>試験結果に基づき、科別、学年別、科目別に GPA を算出し、分布状況をホームページ上に公開している。</p> <p>前述の様な追試に向けた指導や個別面談においては、GPA を参考に目標ラインの設定やランク別の指導を行っている。</p> <p>評点については、学期末試験の結果、出席状況等を総合的に評価して採点。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>全科目において評価が 3 以上であることを必須とし、最終的に校長、学年主任、担任、事務局長で構成する卒業・進級判定会議の議を経て決定する。</p> <p>評価は、原則として期末試験の点数に応じて決定し、状況によっては授業態度や出席状況を加味する場合もある。</p> <p>但し、いずれの科目も出席率が 100%であることが必要であり、補習を行うことで欠課時間数を補うことができるが、出席率 50%未満の場合は補習の実施如何に関わらず、評価を受けることができない。</p> <p>尚、試験結果が 60 点（評価 3）に満たない場合は、追試により評価を得ることは可能である。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担任、副担任、学年主任体制により、日頃の学生の態度や変化にきめ細かい注意を払うとともに、できるだけ多くの教職員が関わることで、相談のしやすさ・相手を選べる環境を創っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ 0%）	0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）
（主な就職、業界等） 理美容業界（高校卒業後、理美容サロンに就職した者が入学対象である）			
（就職指導内容） 既に理美容サロンに就職した者が学ぶ科であり、就職指導は必要としない			
（主な学修成果（資格・検定等）） 令和3年4月開校のためまだ国家試験の受験資格なし			
（備考）（任意記載事項） 令和3年4月開校のためまだ卒業生、国家試験の受験資格なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	3人	16.7%
（中途退学の主な理由） 家庭事情・体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） プロスタイリスト科の退学に関しては、ほぼ全てが勤務先理美容サロンの退職によるものであり、担任、副担任により、日頃の学生の態度や変化にきめ細かい注意を払い、折に触れ個別面談を行うとともに、勤務先サロンとの連携を密にし、場合によってはサロンオーナーを交えた三者面談を実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	160,000 円	1,200,000 円 (600,000 円)	790,000 円	() 内は、1年次の年間授業料
美容科	160,000 円	1,200,000 円 (600,000 円)	890,000 円	() 内は、1年次の年間授業料
プロスタイリスト科 (夜間)	40,000 円	900,000 円 (360,000 円)	1,215,000 円	() 内は、1年次の年間授業料
プロスタイリスト科 (昼間)	160,000 円	1,400,000 円 (500,000 円)	680,000 円	() 内は、1年次の年間授業料
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・本来、半期払いのところを希望者には日本学生支援機構奨学金の貸与を条件に月次分割払いにも対応している。 ・AO 入試特典 教材費 40,000 円免除 ・指定校推薦入試特典 教材費 40,000 円免除 ・家族入学特典 (卒業生・在校生) 2年目教材費 40,000 円免除 ・友人入学特典 (3名同時入学) 2年目教材費 40,000 円免除 ・2世入学特典 (理美容サロンご子息・ご来場) 2年目教材費 40,000 円免除 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/self_assessment.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者評価委員会の提言を踏まえ、学校運営や教育活動等ガイドラインの各評価項目について改善する等により、学校の「質」の向上を図ることを基本方針とする		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本理美容協同組合	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (任期更新) 前年度の任期 2020年4月1日～ 2022年3月31日	企業等委員
アクティブグループ	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (任期更新) 前年度の任期 2020年4月1日～ 2022年3月31日	企業等委員

株式会社 NAVI	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (任期更新) 前年度の任期 2020年4月1日～ 2022年3月31日	企業等委員
株式会社ダリア	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (任期更新) 前年度の任期 2020年4月1日～ 2022年3月31日	企業等委員
株式会社スマートスタイル	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (任期更新) 前年度の任期 2020年4月1日～ 2022年3月31日	企業等委員
ジュピター野田	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (任期更新) 前年度の任期 2020年4月1日～ 2022年3月31日	卒業生
株式会社 ZENON	2022年4月1日～ 2024年3月31日 (任期更新) 前年度の任期 2020年4月1日～ 2022年3月31日	卒業生

関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nhc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/self_assessment.pdf
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nhc.ac.jp/common/info-disclosure/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

*「-」は、個人情報へ配慮するための伏字であり、記載すべき合計値等には一切影響を与えないことに注意すること。

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		91人	93人	97人
内 訳	第Ⅰ区分	62人	65人	
	第Ⅱ区分	18人	一人	
	第Ⅲ区分	11人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				97人
（備考）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-人
3月以上の停学	0人
年間計	-人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	- 人
訓告	0 人
年間計	- 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、 高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0 人	0 人	0 人
GPA等が下位4分の1	0 人	0 人	- 人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0 人	0 人	0 人
計	0 人	0 人	- 人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。